

平成27年度 第1回向日市社会教育委員の会議	
日 時	平成27年5月19日（火）午後1時～午後2時30分
場 所	向日市立図書館 研修室
出席委員	植田委員、河村委員、黒住委員、高畑委員、永井委員、中埜委員、中本委員、藤井委員、安田委員、山本委員、横田委員
欠席委員	梅田委員
事 務 局	奥野教育長、野田教育部長、清水次長、江口中央公民館長、大島図書館長、玉城文化資料館長、小田天文館長、渡辺文化財調査事務所長
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会教育関係事業計画について 2 平成27年度社会教育委員関係の事業予定について 3 その他事項
教育長	<p>○市長あいさつ</p> <p>○委員紹介</p> <p>【開会】</p> <p>○委嘱状交付</p> <p>○教育長あいさつ</p> <p>○職員紹介</p> <p>○議題1 役員の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市社会教育委員の会について 永井委員長、高畑委員長代理を選出し承認した。 ・乙訓社会教育委員等連絡協議会の役員（理事：3名）について 永井委員長、高畑委員長代理、植田委員を選出し承認した。 <p>○議題2 平成27年度社会教育関係事業計画について</p> <p>－生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、文化財調査事務所 事業について説明－</p>
委員	<p>【生涯学習課事業について】</p> <p>学校支援地域本部事業について、今後、第4向陽小学校、寺戸中学校でも設置を予定しているのか。</p>

事務局	今後、残りの2校についても、学校支援地域本部の設置をすすめていきたい。
委員	他に学校を支援する制度として、コミュニティスクール等があるが、これらを導入していく考えはないのか。
事務局	コミュニティスクールも、地域と学校が協力しながら子どもを支える事業の一つであるが、京都府下の市町村では、学校支援地域本部事業を中心に取組みを行っている。本市でも地域の方々とともに、国や京都府の補助金を利用しながら、学校支援地域本部事業を行っていきたい。
委員	留守家庭児童会は、子育て支援の一環として、事業の拡充が行われたが、保護者のニーズはどうか。
事務局	4月1日現在、5、6年生約20人が入会しており、昨年度に比べ児童数が増加している。また、全体としてもここ数年、入会者数が増加する傾向にある。
委員	入会者数が増加することに伴って、職員配置の対応はどのように行っているのか。
事務局	対象児童6年生まで拡大したことに伴い、指導員数も増加させている。
委員	【公民館事業について】 子ども体験講座の理科教室は人気のある講座であるが、講師はボランティアとして指導されているのか。
事務局	京都技術士会会員の皆様の協力を得て、事業を行っている。
委員	この講座を親子もしくは大人向けの講座としても実施してはどうか。
事務局	来年度実施を検討したい。
委員	地区公民館事業の企画にあたっては、中央公民館から助言等を行っているのか。
事務局	地区公民館の自主事業であるため助言等を行っていきたい。
委員	子ども体験講座の理科教室について、小学校の理科授業が3年生から始まること等から、3年生から参加できるようにしてほしい。
事務局	今後検討したい。
委員	【図書館事業について】 文学講座は、毎年人気のある講座であると聞いている。複数回開催する等の検討してほしい。

事務局	<p>受付定員は60人としているが、申込者が多い場合は、会場の定員100人程度まで受付を行い実施している。</p>
委員	<p>【天文館事業について】</p> <p>全体的に事業数が多く良いが、参加者があるかどうかが問題。事業内容、申込み方法等が周知されているのか。市民に分かるような掲載方法を検討してほしい。</p>
事務局	<p>事業実施にあたっては、広報むこう、ホームページ等に詳しく掲載している。他の周知方法も検討していきたい。</p>
委員	<p>【全体】</p> <p>子どもたちへのスポーツの取組みについて、資料として配布されている計画書の中に含まれていないがどうか。</p>
事務局	<p>教育委員会では、少年スポーツ団体に補助金を交付や、市民総合体育大会の実施、また京都サンガや京都ハンナリーズとの連携事業等を行っている。その他の子ども向けスポーツ教室等は、スポーツ文化協会が行っている。</p>
委員	<p>今年の成人式は大変騒がしかった。これは、学校教育の問題にも関わってくると思うが、なんとか落ち着いた式にならないものか。社会教育委員は、青少年健全育成も担う者として、皆で考えなければならないと思う。</p>
事務局	<p>成人を祝う場として落ち着いた会としたいが、対応はなかなか難しいところである。</p>
委員	<p>社会生活を円滑に営む上で困難を有する子どもや若者への学習支援について、教育委員会としてどのような取組みを考えているのか。これからは、生活面だけでなく学習においも支援をしていかなければならないのではないか。</p>
事務局	<p>教育委員会では、要保護、準要保護の家庭への就学支援等の制度があるが、福祉部門での支援が大きくなる。</p> <p>現在でも、朝の見守りや、補充学習等を、地域のボランティアの方々に関わっていただいて実施しており、今後も京都府の予算を活用する中で活動を積み重ね社会教育の充実を図っていきたい。</p>
委員	<p>20年前と比べて、子ども達の雰囲気は良くなってきている。朝の挨拶など、子どもへの大人の声かけが多く行われ、それを子どもたちが見て学んでいる。これが良い方向にはたらいっているのではないか。</p>
事務局	<p>議題2 平成27年度社会教育委員関係の事業予定について —事業予定について説明—</p>

閉 会